



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ経営管理本部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,853	45.6	3,058	165.9	3,083	136.8	2,068	146.6
2023年3月期第1四半期	9,515	65.2	1,150		1,302		838	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,084百万円 (136.6%) 2023年3月期第1四半期 880百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	66.49	
2023年3月期第1四半期	26.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	35,601	26,423	74.2	849.11
2023年3月期	36,953	26,517	71.8	852.13

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 26,423百万円 2023年3月期 26,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		70.00	70.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2023年8月1日開催の取締役会において、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。2024年3月期(予想)の1株当たり期末配当及び年間配当合計については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の1株当たり期末配当及び年間配当合計は70円となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,300	20.9	4,100	44.9	4,125	35.0	2,765	38.6	17.77
通期	55,870	11.4	11,670	17.3	11,720	13.8	7,850	11.9	50.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年8月1日開催の取締役会において、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の第2四半期(累計)の1株当たり当期純利益は88円85銭、通期の1株当たり当期純利益は252円26銭となります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	31,121,520 株	2023年3月期	31,121,520 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,350 株	2023年3月期	2,350 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	31,119,170 株	2023年3月期1Q	31,119,289 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や行動制限が解除されたことにより社会経済活動は一段と正常化に向かい、また、インバウンドが徐々に回復するなど、一部で明るい兆しが見え始めました。一方で、働き手不足の深刻化や原材料価格・エネルギー価格の更なる高騰、また、物価上昇による消費マインドの悪化懸念など、依然として先行き不透明な状態が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、2023年経営スローガンを「超絶ド成長元年!」とし、経営理念の徹底実践をベースとした「全員参画による超現場主義」経営を推進し、人財力及び組織力の向上に注力いたしました。また、美味しさをより一層追求した「プレミアム・ギフトスイーツ」の創造と育成に邁進し、商品力・販売力・売場力の大幅なレベルアップ、人財採用と共育、ブランド開発と売場獲得、インバウンド復活準備などの重点対策の推進に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,853百万円（前年同期比45.6%増）、営業利益は3,058百万円（前年同期比165.9%増）、経常利益は3,083百万円（前年同期比136.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,068百万円（前年同期比146.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① シュクレイ

シュクレイは、更なるブランド価値の向上に拘り、「東京ミルクチーズ工場」において季節限定商品「バニラ&マスカルポーネクッキー」を発売するなど、各売場において季節限定商品の発売や試食販売などによる販売力の強化などに注力いたしました。また、主要国際線ターミナルを中心にインバウンド対策を強化するとともに、催事出店にも積極的に取り組みました。新規出店では、5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、6月にはJR東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を出店するなど、計3店の出店を行いました。その結果、売上高は5,772百万円（前年同期比51.2%増）、営業利益は1,204百万円（前年同期比107.7%増）となりました。

② ケイシイシイ

ケイシイシイは、25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「Now on Cheese♪（ナウオンチーズ）」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。その結果、売上高は3,599百万円（前年同期比36.4%増）となり、営業利益は529百万円（前年同期比504.3%増）となりました。

③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、国内旅行需要の回復に備え、代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。その結果、売上高は3,001百万円（前年同期比44.3%増）、営業利益は662百万円（前年同期比125.8%増）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、交通拠点チャネルを重点に、土産需要の回復を見据え、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区は、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルによる販売強化、福岡地区では「博多まっかな苺」ブランド展開の推進などに取り組みました。その結果、売上高は1,638百万円（前年同期比47.0%増）、営業利益は199百万円（前年同期比211.3%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、製造小売型経営への変革を図るため、当社グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革、製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。また、10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイポリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストプディング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組まれました。その結果、売上高は1,385百万円（前年同期比57.2%増）、営業利益は155百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。売上高は146百万円（前年同期比44.4%増）となり、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、35,601百万円となり前連結会計年度末と比べ1,351百万円減少いたしました。

主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(1,220百万円)、現金及び預金の減少(1,114百万円)、商品及び製品の増加(750百万円)などによるものです。

負債は、9,177百万円となり前連結会計年度末と比べ1,257百万円減少いたしました。

主な要因は、流動負債におけるその他の増加(698百万円)、未払法人税等の減少(1,726百万円)、賞与引当金の減少(407百万円)などによるものです。

純資産は、26,423百万円となり前連結会計年度末と比べ94百万円減少いたしました。

主な要因は、配当金の支払いによる減少(2,178百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加(2,068百万円)などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.4ポイント増加し74.2%となり、1株当たり純資産額は849円11銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字(2023年5月15日付「2023年3月期決算短信」)からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,162,263	16,047,339
受取手形及び売掛金	6,074,313	4,853,701
商品及び製品	1,583,653	2,334,014
仕掛品	61,458	84,732
原材料及び貯蔵品	648,392	697,157
その他	210,983	261,128
貸倒引当金	△294	△496
流動資産合計	25,740,768	24,277,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,811,177	3,883,378
機械装置及び運搬具(純額)	1,738,068	1,774,860
工具、器具及び備品(純額)	292,314	299,055
土地	2,855,157	2,855,157
リース資産(純額)	10,539	9,659
建設仮勘定	43,147	29,028
有形固定資産合計	8,750,402	8,851,137
無形固定資産	100,803	100,375
投資その他の資産		
その他	2,366,943	2,377,864
貸倒引当金	△5,772	△5,772
投資その他の資産合計	2,361,171	2,372,092
固定資産合計	11,212,376	11,323,604
資産合計	36,953,144	35,601,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,562,871	1,776,603
1年内返済予定の長期借入金	140,150	97,310
未払金	1,177,247	1,157,355
未払法人税等	2,755,368	1,029,333
賞与引当金	932,111	524,176
その他	1,527,725	2,226,020
流動負債合計	8,095,472	6,810,797
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
退職給付に係る負債	1,849,604	1,877,266
その他	190,530	189,650
固定負債合計	2,340,134	2,366,916
負債合計	10,435,606	9,177,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	23,855,214	23,745,857
自己株式	△5,312	△5,312
株主資本合計	26,390,863	26,281,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,926	19,984
為替換算調整勘定	31,148	45,033
退職給付に係る調整累計額	80,601	76,943
その他の包括利益累計額合計	126,675	141,960
純資産合計	26,517,538	26,423,466
負債純資産合計	36,953,144	35,601,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,515,305	13,853,381
売上原価	3,982,980	5,417,862
売上総利益	5,532,325	8,435,519
販売費及び一般管理費	4,381,889	5,376,814
営業利益	1,150,436	3,058,705
営業外収益		
受取利息	38	63
受取配当金	3,437	3,039
受取地代家賃	12,993	12,322
その他	137,379	12,298
営業外収益合計	153,847	27,722
営業外費用		
支払利息	152	64
その他	1,854	2,649
営業外費用合計	2,006	2,713
経常利益	1,302,277	3,083,714
特別利益		
固定資産売却益	127	—
特別利益合計	127	—
特別損失		
固定資産除却損	2,354	1,335
投資有価証券売却損	400	—
特別損失合計	2,754	1,335
税金等調整前四半期純利益	1,299,650	3,082,379
法人税等	460,672	1,013,394
四半期純利益	838,978	2,068,985
親会社株主に帰属する四半期純利益	838,978	2,068,985

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	838,978	2,068,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,367	5,058
為替換算調整勘定	44,982	13,885
退職給付に係る調整額	△4,334	△3,658
その他の包括利益合計	42,015	15,285
四半期包括利益	880,993	2,084,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880,993	2,084,270

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(当座貸越契約)

当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当第1四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
当座貸越極度額の総額	7,800,000千円	3,250,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	7,800,000千円	3,250,000千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,684,374	2,561,272	1,409,393	1,103,009	655,839	9,413,887
セグメント間の内部売上高又は振替高	134,314	76,795	670,367	11,639	225,627	1,118,742
計	3,818,688	2,638,067	2,079,760	1,114,648	881,466	10,532,629
セグメント利益(△は損失)	579,932	87,652	293,530	64,178	△15,414	1,009,878

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	101,418	9,515,305	—	9,515,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	1,118,821	△1,118,821	—
計	101,497	10,634,126	△1,118,821	9,515,305
セグメント利益(△は損失)	△8,841	1,001,037	149,399	1,150,436

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額149,399千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額321,128千円、セグメント間取引消去額3,706千円、棚卸資産の調整額△21,962千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153,473千円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,667,859	3,447,980	2,022,558	1,613,629	955,968	13,707,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	104,452	151,620	979,271	24,969	429,560	1,689,872
計	5,772,311	3,599,600	3,001,829	1,638,598	1,385,528	15,397,866
セグメント利益	1,204,447	529,662	662,804	199,776	155,618	2,752,307

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	145,387	13,853,381	—	13,853,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,151	1,691,023	△1,691,023	—
計	146,538	15,544,404	△1,691,023	13,853,381
セグメント利益	5,105	2,757,412	301,293	3,058,705

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額301,293千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額459,791千円、セグメント間取引消去額7,577千円、棚卸資産の調整額△3,884千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,191千円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年8月1日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2023年9月30日(土曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式数1株につき、5株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	31,121,520株
今回の分割により増加する株式数	124,486,080株
株式分割後の発行済株式総数	155,607,600株
株式分割後の発行可能株式総数	456,000,000株

(3) 株式分割の日程

取締役会決議日	2023年8月1日(火曜日)
基準日公告日	2023年9月14日(木曜日)(予定)
基準日	2023年9月30日(土曜日)(注)
効力発生日	2023年10月1日(日曜日)

(注) 基準日当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には9月29日(金曜日)となります。

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり四半期純利益	5円39銭	13円30銭

(5) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年10月1日(日曜日)をもって当社定款第6条で定める発行可能株式総数の変更を行うものであります。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は次のとおりです。

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変更後
(発行可能株式総数)	(発行可能株式総数)
第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>9,120</u> 万株とする。	第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>45,600</u> 万株とする。

(3) 変更の日程

取締役会決議日	2023年8月1日(火曜日)
効力発生日	2023年10月1日(日曜日)